

ハマ・アップの利用状況から

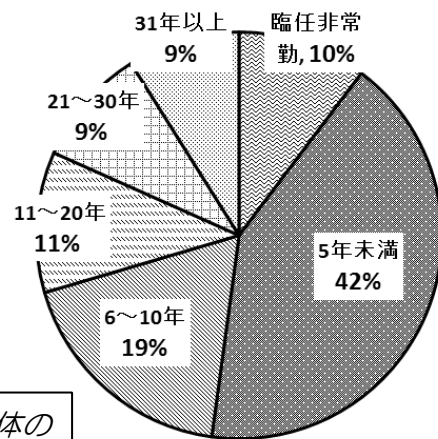
ハマ・アップは平成17年6月に当時の教育文化センター5階でスタート。20年度には方面毎に設置され4館となりました。利用者も年々増え、来年は10年目を迎えます。

教員の利用者の中では、右の図のように経験10年未満の方が60%を超えます。校種別で見ると小学校教員の利用が最も多く、日々の授業や重点研に向けて準備や相談などに活用されています。また、授業づくり講座もいろいろな教科・領域に渡って行われ、受講者も増加しています。

今後はさらに認知度を高めるとともに、より多くのニーズに応えられる施設として、横浜市の先生方の授業改善に効果的な役割を果たしていきたいと思っています。

いろいろあります！
ハマ・アップの利用法

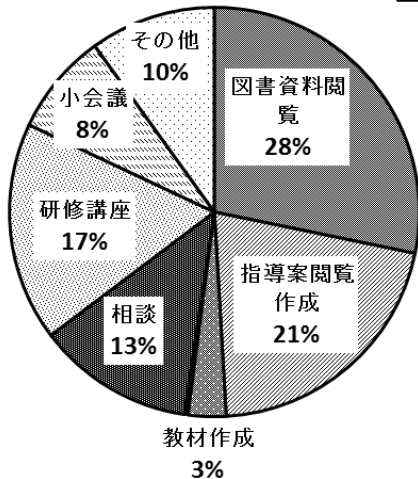
教員利用者の経験年数別割合



利用目的の割合

(全利用者対象・複数回答あり)

昨年度の4館全体の利用者の統計です。



学年の先生、皆で授業づくり相談！

最近増えてきているのがグループでの利用です。個別支援学級の先生方がそろって指導主事に相談に来たり、研究推進委員会や学年研を兼ねて指導案検討や資料集めに来たり、というような例です。

お出かけメンター研はいかが！

また、メンターチームの活動の一環として授業づくり講座に皆で参加した学校もありました。支援員を交えた指導案検討なども行っています。ぜひ計画的に利用してください。

【ご案内】各ハマ・アップの連絡先

授業づくり講座、授業づくり相談はFAXで…
申込み用紙は、Y・YNETからダウンロードできます。

	東 部	西 部	南 部	北 部
電話	411-0614	336-3741	843-6371	944-5966
FAX	411-0615	336-3761	843-6372	944-5967

〈ハマ・アップ通信〉
(ハマ・アップ情報メール配信)
講座案内のほか、緊急時の講座の中止・延期、ハマ・アップの臨時閉館などについてもお知らせしていますので、ぜひご利用ください。

右のQRコードから登録を！



フレッシュ先生の授業づくり・学級づくり講座 ～前期～ 報告

～西部ハマ・アップ～7月5日(土)

【体育学習を中心としたためあてに向かって進んで取り組む子どもたちを育てる学級経営】 講師 左近山小学校 荒堀泰樹 教諭

○体育を指導することは苦手なのですが、そんな私にも分かりやすく、マットの動きから学級経営へのつなげ方まで理解することができました。(経験2年)

○一年間通して学習し、そこまで継続すれば、子どもの可能性がここまであるのかと思いました。基礎・基本を大切にすることや、手立てなど学ぶものがありました。(経験1年)



～東部ハマ・アップ～7月12日(土)

【子どもが楽しく学び合う社会科の学級づくり】 講師 平沼小学校 石川和之 教諭



○お話を伺って、先生が熱い思いをもって授業を楽しむことが大切なのだと感じました。また、一人ひとりの子どもを大切にするために、座席表で子どもの考えを知っておくことは、ぜひ自分でやってみようと思いました。実際に関わり合い、本物体験のできる授業づくりをしていきたいと思います。(経験4年)

○子どもたちの見取りの基となる「座席表指導案」、地域や人と関わっていき、生の声を聞こうとするスタイル、そして、圧倒的に時間と労力をかける教材研究…。私も子どもたちの目が輝くような社会科にしていきたいと思いました。(経験1年)

～北部ハマ・アップ～7月19日(土)

【日常使える言葉遊び…楽しく学ぶ言語活動】 講師 中山小学校 細谷由佳 教諭

○「音読って…何だか」とか、「初発の感想から、どうつなげて？」等、思っていたけれど「こんな事、思っはいけない」と誰にも言えずに、思っていた自分を反省していました。今日、ずばりのお話が聞けて、すっきりしました。(経験2年)

○本日の言葉遊びは発言しやすい雰囲気づくりとしてすぐにでも活用できると思った。また、その他にも参考になる資料も多く、参加して良かった。(経験4年)



フレッシュ先生の講座～後期日程が決まりました！

南部 11/8
国語

東部 11/15
生活

西部 12/6
道徳

北部 12/20
特活